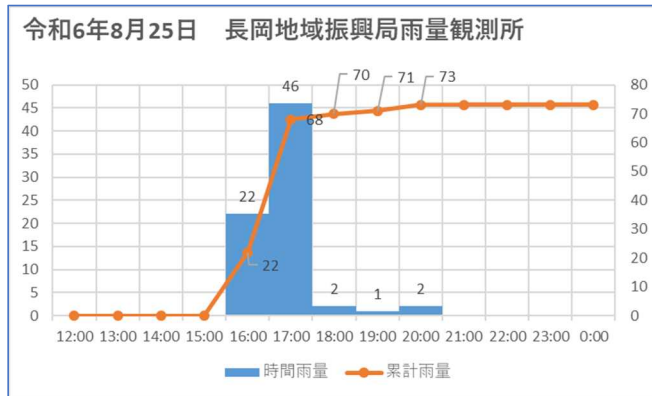
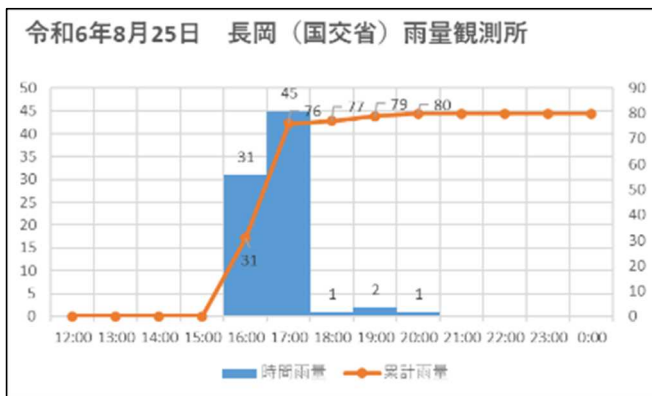
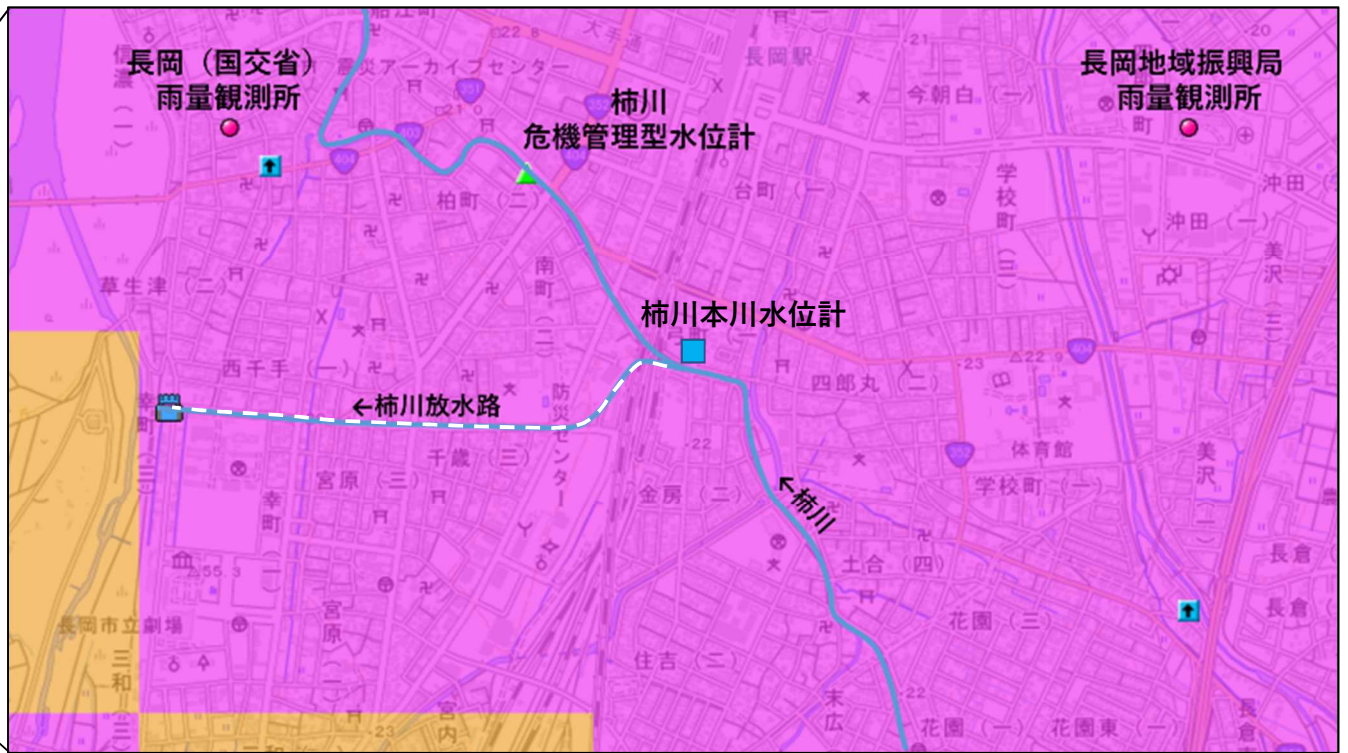
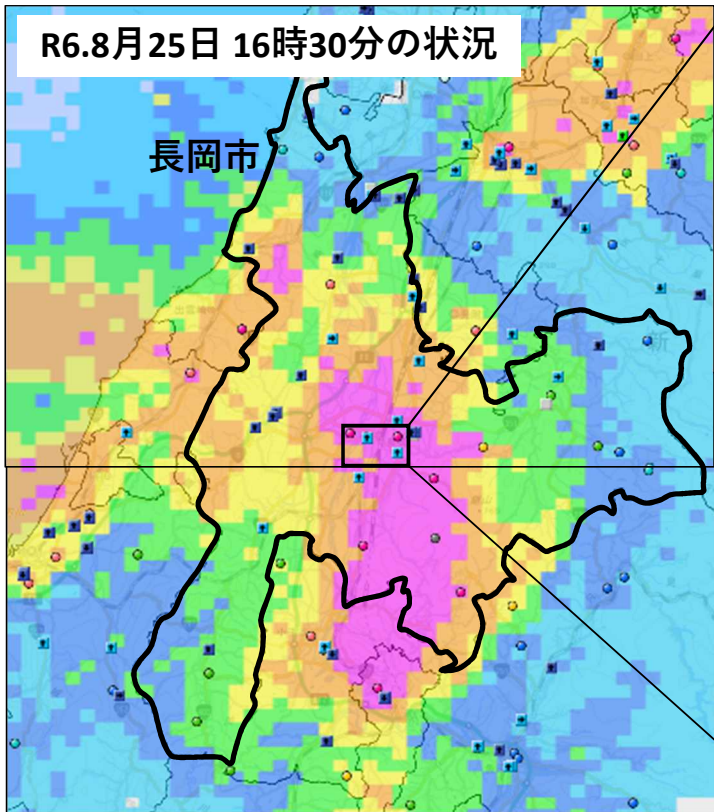


# 令和6年8月25日の降雨状況～柿川整備効果～【速報値】

新潟県内は暖かく湿った空気が流れ込んだ影響などにより大気の状態が不安定となり各地で大雨となった。長岡雨量観測所（国交省）で時間最大45mm、長岡振興観測所で46mm（同時刻）を観測した。この大雨により長岡市内では、床上浸水3件、床下浸水21件が発生した。



# 令和6年8月25日の降雨状況～柿川整備効果～【速報値】

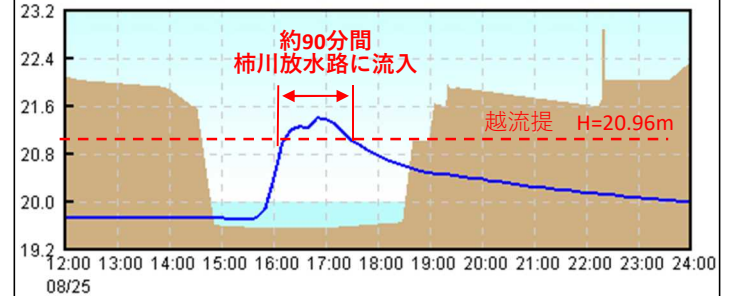
一級河川柿川は、河川改修により、平成31年3月23日に柿川放水路が完成した。柿川本線の水位が20.96mを超えると、越流堤を超え放水路に水が流れ一級河川太田川へ流入する構造である。

8月25日の豪雨では、約90分間（16:10～16:40頃）越流堤を超え、約46,900m<sup>3</sup>を柿川放水路でカットした。越流堤の下流（柿川橋付近）で、最大で約70cmの水位低減を發揮し、被害を防いだ。

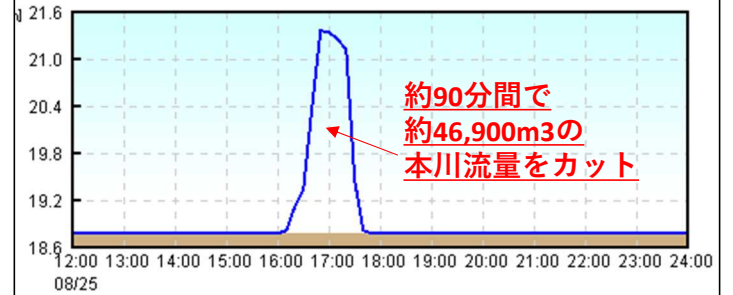
柿川放水路 概況図



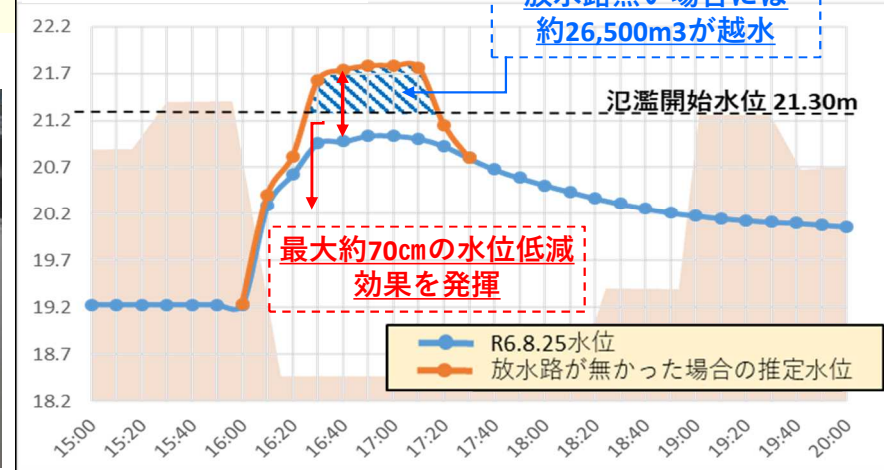
柿川本川水位



柿川放水路水位



柿川危機管理水位計



# 令和6年8月25日の降雨状況～柿川整備効果～ 【速報値】

平成23年7月の新潟福島豪雨では、床上浸水147戸、床下浸水734戸、浸水面積163haの被害が発生した。  
放水路整備前に今回豪雨が発生した場合、約26,500m<sup>3</sup>の水が越水し、越水後30cmで広がった場合には約8.8ha、50cmで広がった場合には約5.3haの浸水被害が想定されたが、柿川放水路整備により越水被害を防いだ。

